

(様式1)

国保依田窪病院 倫理審査申請書

令和 6 年 1 月 12 日提出

国保依田窪病院院長
倫理委員会委員長 様

申 請 者

氏 名 小林 タ子



所 属 リハビリテーション科

職 名 理学療法士

※ 受付番号 No.

1. 課題名	デュシェンヌ型筋ジストロフィーに対する訪問リハビリテーションの関わり ーひらけた関係性を築くためにできることー
2. カテゴリー	☐ 疫学的な調査のための臨床研究 ☐ 診断及び治療法の効果を調べる臨床試験 ☐ 学会等提出論文 ☐ 委託研究または製造販売後調査 ☒ その他 (院内研究)
3. 実施 責任者名	小林 タ子
4. 実施 分担者名	リハビリテーション科 訪問リハビリテーション 理学療法士2名 (内田淳也、小林タ子) 作業療法士1名 (小林亜沙加) 訪問看護 1 名 (田中紀子)
5. 医療の概要	実施期間 令和 3 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 1 月 30 日 まで 概 要
6. 医療の対象並 びに実施場 所	対象例数 1 名 医療対象 デュシェンヌ型筋ジストロフィー 実施場所 自宅
7. 実施計画書	添付
8. 医療における 倫理的、社会的配 慮について	(1) 医療の対象となる者の人権擁護 (2) 医療の対象となる者の理解と同意 (3) 医療の対象となる者に生ずる危険性と不利益に対する配慮 (4) その他
9. 審査資料	☒ 実施計画書 ☐ その他 ☒ 同意説明文書及び同意書

- 注意事項 1 1～5は必ず記入し、ファイルをメールまたはメディアに保存し提出すること。
- 2 審査対象となる別添資料があれば、全て添付すること。(別添資料添付漏れのある場合審査
できません。)
- 3 ※印は記入しないこと

研究実施計画書

令和 6 年 1 月 12 日
リハビリテーション科
理学療法士 小林夕子

【研究目的】

神経難病に対する訪問リハビリテーションの関わりの中で、症例と献身的に介護してきた家族には閉鎖的な背景があった。支援経過を振り返り、今後の在宅支援の一助としたい。

【研究の方法】

令和 3 年 4 月より担当させていただいた 1 症例の紹介と支援経過、治療内容、家族背景から課題を抽出し考察したため院内研究発表会にて症例報告を行う。

症例カルテより以下の項目について情報を収集し、治療や支援の経過をまとめる。

情報収集を行う項目

- ① 基本情報（疾患名・性別・年齢）
- ② 訪問リハ経緯
- ③ 家族情報（介護状況）
- ④ 治療内容
- ⑤ 他職種会議
- ⑥ 理学療法評価
 - (ア)身体機能（関節可動域、筋力）
 - (イ)コミュニケーションツール
 - (ウ)ADL
 - (エ)支援経過